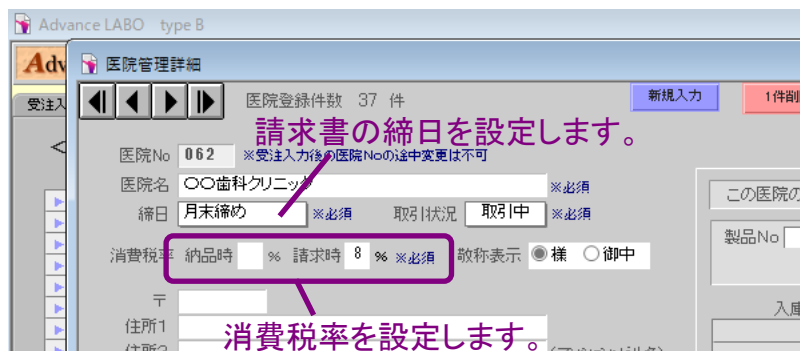


## アドバンスラボ請求書の消費税算定の仕組み

アドバンスラボでの請求書の消費税率と締日の設計の仕組みをご説明致します。消費税率や締日の設計の仕組みをご理解いただくことで、請求書発行時に問題が出た場合の修正を正しく行うことが可能になりますので、ご一読いただければ幸いです。



アドバンスラボでの消費税率は医院管理で各医院ごとに消費税率を納品時、もしくは請求時かでどちらかの枠に設定します。

### ＜納品時に消費税額を算定したい場合＞

医院管理で納品時に設定した消費税率は受注入力の新規入力時に医院Noを選択した際に、設定した値が貼り付けられ、納品額に加算されます。納品書発行時に消費税額が加算された納品額の合計値が納品額の合計金額として表示されます。請求時には受注入力で算出された消費税額が合計されて消費税額の合計額として表示され、請求額に加算されます。

### ＜請求時に納品額を算定したい場合＞

受注入力時には消費税率や消費税額は表示されず、医院管理で請求時に設定した消費税率が請求書データを新規に作成時に設定した値が貼り付けられ、請求時の締め範囲の受注データの納品額の合計額から設定した消費税率で消費税額が算出されて表示されます。

※医院管理で設定した消費税率は受注入力や請求書データに貼り付けられた後、医院管理のほうで消費税率を変更しても、既に貼り付けた値は変わらないようになっています。

※請求書の消費税額は、納品時に設定して算出した消費税額と請求時に設定して算出した消費税額とは小数点以下の処理により同じ金額とならない場合(数円の違い)がございます。

### ＜消費税率データの修正方法について＞

医院管理の初期登録で消費税率を登録していなかった場合や途中で消費税率を修正した場合は、消費税請求が「納品時」の場合は、受注入力の入力画面の消費税%の枠内をマウスで選択してキーボードで手動変更してください。請求書を発行済で請求書も修正したい場合は、受注入力のデータの修正完了後に請求書の印刷済のチェックを外して、請求書/入金画面の右上の「表示金額再計算」ボタンを押してください。請求書印刷画面を開いて請求書データ削除後に再度作成し直しでも構いません。

「請求時」の場合の消費税率の修正方法は請求書/入金画面で修正したい「請求書」ボタンを押して請求書印刷画面を開いて画面右の消費税率を変更して、請求書画面を一旦閉じてから、請求書の印刷済のチェックを外して、請求書/入金画面の右上の「表示金額再計算」ボタンを押してください。上記同様請求書データ削除後に作成し直しでも構いません。

# アドバンスラボ請求書の締日範囲での請求の仕組み

アドバンスラボでの請求書の締日の設定は医院管理で各医院ごとに設定します。

医院管理で設定した締日は受注入力の新規入力時に医院Noを選択した際に、医院ごとに設定した締日が貼り付けられ、その締日をもとに入力した納品日から請求日を計算表示します。毎月の請求書データの新規作成時に医院ごとに設定した締日を参照して請求日が入力され、その請求書の請求日と同じ請求日の受注データが集計されて請求額が算出、入力されます。

※医院管理で設定した締日は受注入力時に貼り付けられた後、医院管理のほうで締日を変更しても、既に貼り付けた値は変わらないようになっています。変更が必要な場合は手動で変更が必要となります。

## ＜請求書で必要な受注データが算定されない場合は＞

アドバンスラボでの請求書データ作成後に、その年月に算定されるべき受注データが算定されていない場合は、下図のように請求書印刷画面を開き、上の「確認画面」ボタンを押して確認画面へ移動し、画面右下の「この医院の全受注データ表示」をクリックします。その医院のすべての受注データが表示された画面が開きますので、算定したい受注データの請求日が請求書の請求日と同じかどうかを確認して、違う場合は請求書の請求日と同じになるように修正してください。修正が完了したら元の確認画面へ戻って、「下段の計算金額をコピー」のボタンを押すと、最新の集計金額を請求書の金額欄に貼り付けて金額が更新されます。受注データを修正して請求書データを更新するという作業の流れになります。

下記は医院詳細で締日を月末締めで設定して受注入力していて途中で二十日締めに変更したため、請求書に月末締めの受注データが表示されない場合の修正方法です。以下の更新方法の説明はアドバンスラボver35b1以降の機能でのものです。

②確認画面の右下の「この医院の全受注データ表示」をクリックします。

請求書

<受注データ一覧> 請求書請求日 2019/9/20 ③月末締めを二十日締めに修正します。

納品No	指示書No	医院名	患者名	主技工製品名	納品時消費税率	金額	受注日	納品日	請求日	締日	特定請求日
018478		〇〇歯科クリニック	ああああ	パルジルゴニア		108,000	19/08/29	19/09/05	2019/09/30	月末締め	
018479		〇〇歯科クリニック	いはい	MBクラウン(基本)		48,000	19/08/29	19/09/11	2019/09/20	二十日締め	
018480		〇〇歯科クリニック	おおおお	MBクラウン画像あ		70,000	19/08/29	19/09/25	2019/10/20	二十日締め	

受注データを修正したため、請求書データ作成時に貼り付けた請求金額と現在の受注データの合計値が違うためアラートが表示されます。

請求書

請求書データ確認画面

請求書No 01993 □印刷済み

062 〇〇歯科クリニック 請求日 2019/9/20 二十日締め

2019 年 9 月分 請求額 ¥51,840

支払予定日 値引き額 ※-(マイナス)で記入 値引き表示

値引き率 % 値引き額 切捨て 値引き処理実行 値引きキャンセル

受注入力画面での納品額合計と請求書納品額が違います。請求書データ作成後、受注入力画面の納品データを削除、修正した可能性があります。更新する場合は手入力で訂正、もしくは下の「計算金額をコピー」ボタンを押して更新してください。

前回請求額	前回入金額	調整額	繰越金額	〈技工〉	〈材料〉	消費税	今回納品額
				48,000		3,840	51,840

前回の請求額～繰越金額を消去 (保険) (自費) 48,000 (納品時値引)

156,000 12,480 168,480 (納品時値引)

156,000 12,480 168,480 (納品時値引)

2件

納品No	指示書No	納品日	患者名	技工	材料	消費税	納品合計
018478		2019/09/05	ああああ	108,000			108,000
018479		2019/09/11	いはい	48,000			48,000

下段の計算金額をコピー

※上段白枠内は請求書印刷時に印刷される金額です。下段は今現在の受注入力の計算金額を表示しています。※請求書データを作成後、受注データの数量金額等を変更した場合、「計算金額をコピー」ボタンを押してから印刷してください。

上段は請求書印刷時の金額欄です。

下段は最新の受注データの合計値です。

④「下段の計算金額をコピー」のボタンを押します。

請求書

請求書データ確認画面

請求書No 01993 □印刷済み

062 〇〇歯科クリニック 請求日 2019/9/20 二十日締め

2019 年 9 月分 請求額 ¥168,480

支払予定日 値引き額 ※-(マイナス)で記入 値引き表示

値引き率 % 値引き額 切捨て 値引き処理実行 値引きキャンセル

コピーボタンで下段の最新値が入力されました。

前回請求額	前回入金額	調整額	繰越金額	〈技工〉	〈材料〉	消費税	今回納品額
				156,000		12,480	168,480

前回の請求額～繰越金額を消去 (保険) (自費) 156,000 (納品時値引)

156,000 12,480 168,480 (納品時値引)

156,000 12,480 168,480 (納品時値引)

2件

納品No	指示書No	納品日	患者名	技工	材料	消費税	納品合計
018478		2019/09/05	ああああ	108,000			108,000
018479		2019/09/11	いはい	48,000			48,000

下段の計算金額をコピー

※上段白枠内は請求書印刷時に印刷される金額です。下段は今現在の受注入力の計算金額を表示しています。※請求書データを作成後、受注データの数量金額等を変更した場合、「計算金額をコピー」ボタンを押してから印刷してください。

最新の金額が請求書の金額欄に上書きされてアラートが消えて正しい請求書が出来ました。

## ＜請求書の締日範囲を通常範囲から変更して発行したい場合＞

医院の請求書の締日が「20日締め」だけど年度末だけ月末締めで請求書を発行したい場合などは、21日から月末までは通常翌月の請求書に算定されます。上記の医院の受注データへ移動して、21日から月末までの受注データの特定請求日に発行したい請求書の請求日を入力すると強制的に特定請求日の日付の請求書に算定できます。（例えば20日締めの医院で12月請求分は11月21日から12月20日となりますが、12月21日から12月31日までの受注データの特定請求日に12月20日の請求日を入力することで11月21日から12月31日までの請求書を発行できます。請求書データを一旦削除して再度納品日範囲で請求書を作成という作業の流れになります。

下記は2019年9月分の請求書だけ締日の範囲を強制的に8月21日から9月30日まで指定して作成する方法をご説明しております。（通常は二十日締めの医院の9月分請求書は納品日が8月21日から9月20日までで発行されます）

請求書印刷画面

この請求書を削除 印刷画面 確認画面(値引) × 閉じる

請求書No 01993 ☐ 印刷済み

①「締日範囲を変更」をクリックする。

062 ○○歯科クリニック 請求日 2019/9/20 二十日締め

2019 年 9 月分 請求額 ¥168,480 支払予定日 締日範囲を変更 >>

値引き額 ※-(マイナス)で記入

前回請求額	前回入金金額	調整額	繰越金額	〈技工〉	〈材料〉	消費税	今回納品額
				156,000		12,480	168,480

前回請求額～繰越金額を消去 (保険) (自費) 156,000 (納品時値引)

2件

納品No	指示書No	納品日	患者名	技工	材料	消費税	納品合計
▶ 018478		2019/09/05	あああああ	108,000			108,000
▶ 018479		2019/09/11	い い い い い	48,000			48,000

現在の請求書用紙設定 B5モノクロ ☐ 控え印刷

区分表示: ☐ 納品Noを表示しない ☐ 保険自費の計を非表示

この請求書を印刷 プレビュー表示

< 預り金属明細書印刷 > Aタイプ B5タイプ

< 預り金属集計書印刷 > Aタイプ B5タイプ



請求書印刷画面

この請求書を削除 印刷画面 確認画面(値引) × 閉じる

請求書No 01993 ☐ 印刷済み

062 ○○歯科クリニック 請求日 2019/9/20 二十日締め

2019 年 9 月分 請求額 ¥168,480 支払予定日 締日範囲を変更 >>

値引き額 ※-(マイナス)で記入

前回請求額 前回入金金額 調整額

前回請求額～繰越金額を消去

2件

納品No	指示書No	納品日	患者名	技工	材料	消費税	納品合計
▶ 018478		2019/09/05	あああああ	108,000			108,000
▶ 018479		2019/09/11	い い い い い	48,000			48,000

現在の請求書用紙設定 B5モノクロ ☐ 控え印刷

区分表示: ☐ 納品Noを表示しない ☐ 保険自費の計を非表示

この請求書を印刷 プレビュー表示

< 預り金属明細書印刷 > Aタイプ B5タイプ

< 預り金属集計書印刷 > Aタイプ B5タイプ

メッセージ

表示されている請求書データを一旦削除して、締日範囲を変更して請求書データを作成する画面へ移動します。よろしければ「実行」ボタンを押してください。

実行 キャンセル

②「実行」を選択する。一旦表示されている請求書データは削除されて、締日範囲を指定して請求書を作成する画面へ移動します。

④最初に一括変更処理ボタンを押します。

Advance LABO type B

請求日一括変更画面 ※指定した納品日範囲の受注データの請求日を強制的に一括変更して請求書を作成できます。

2019 年 9 月 請求分 医院: 062 ○○歯科クリニック 二十日締め 請求時税率 8%

納品日 2019/08/21 ~ 2019/09/30 の受注データを 請求日 2019/09/30 に

1. 一括変更処理 2. 請求書作成

税率は請求時か納品時のいずれかのみ設定。

※一括変更したい医院を選択して、当月の請求書の納品日の日付範囲を入力してから、「一括変更処理」ボタンを押して下さい。受注データの特定請求日に入力した請求日が自動入力されて強制的に請求日が変更されます。

※一括変更後、「請求書作成」ボタンを押して、請求書データを作成して下さい。尚、当月の請求書データをすでに作成済みの場合には一旦削除してから再度請求書データを作成します。

2019/08/01 ~ 2019/10/31 納品日の受注データ（確認のため前後の月の受注データが表示されます）

納品No	指示書No	医院No	患者名	主技工製品	納品時税率	納品額	納品日	請求日
▶ 018478		062	あああああ	フルジルコニア		108,000	2019/09/05	2019/09/20
▶ 018479		062	いれれれれい	MBクラウン(基本)		48,000	2019/09/11	2019/09/20
▶ 018480		062	おおおおお	MBクラウン(画像あり)		70,000	2019/09/25	2019/10/20

⑤次に請求書作成ボタンを押します。

Advance LABO type B

請求書印刷画面

この請求書を削除 印刷画面 確認画面(値引) × 閉じる

請求書No 01994 ☐ 印刷済み

062 ○○歯科クリニック 請求日 2019/9/30 二十日締め

支払予定日 値引き額 ※-(マイナス)で記入

2019 年 9 月 請求額 ¥244,080 締日範囲を変更 >>

前回請求額	前回入金額	調整額	繰越金額	〈技工〉	〈材料〉	消費税	今回納品額
				226,000		18,080	244,080

前回請求額~繰越金額を消去 (保険) (自費) 226,000 (納品時値引)

3件

納品No	指示書No	納品日	患者名	技工	材料	消費税	納品合計
▶ 018478		2019/09/05	あああああ	108,000			108,000
▶ 018479		2019/09/11	いれれれい	48,000			48,000
▶ 018480		2019/09/25	おおおおお	70,000			70,000

現在の請求書用紙設定 B5モノクロ ☐ 控え印刷

区分表示: ☐ 納品Noを表示しない ☐ 保険自費の計を非表示

この請求書を印刷 プレビュー表示

< 預り金届明細書印刷 > Aタイプ B5タイプ

< 預り金届集計書印刷 > Aタイプ B5タイプ

納品日が8月21日から9月30日の請求書が作成されて請求書印刷画面が開きます。

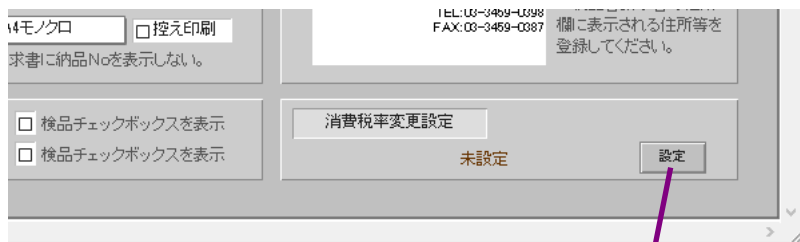
20日締めから月末締めに締日を変更した場合や先の請求書で必要な受注データが算定されない場合も、この方法で強制的に納品日範囲で指定して算定することも可能です。

20日締めから月末締めに切り換える場合は切り換え前の前月21日から当月末日までは医院管理の締日が「二十日締め」のまま入力して、翌月1日納品分の入力前に医院管理の締日を「月末締め」に変更します。切り換え前の前月21日から当月末日までの請求書はこの機能を利用して納品日範囲を指定して請求書を発行します。

※上記の機能で請求書を作成する際、納品日の日付範囲を指定する時に前後の請求書の納品日の範囲と重複して指定しないようご注意ください。

## ＜消費税率変更設定での設定方法＞ ※ver3.5b2からの新機能

メニュー画面→「初期設定」を選択して、初期設定画面の右下で消費税率の切り替え時の消費税額を自動計算する設定を行うことで、請求書の作成時に自動的に消費税率が切り替わる月の請求書の税額を自動計算して備考欄に内訳を表示できます。該当する年月の請求書のデータを作成する前に設定を行ってください。設定後は次の税率変更まで設定はそのままです。



①初期設定画面右下の設定ボタンを押す。

Advance LABO type B

### 消費税率変更設定画面

アドバン斯拉ボで設定している消費税率が変わる場合に設定しておく請求書の作成時に備考欄に消費税率の変更前や変更後の小計の内訳を計算して表示することが出来ます。変更開始の納品日の日付、変更前の税率、変更後の税率と適用する請求書の年月を入力してください。〈例：納品日 2019/10/1から消費税率8%を10%に変更する。2019年10月分の請求書の〜〉 また税率を受注入力後や請求書データ作成後に自動変更する場合はチェックを入れてください。医院管理で消費税率を納品時と請求時両方の医院がある場合は両方とも設定してください。〈変更後の税率を必ず入力しておいてください〉

【請求時消費税率の設定】 ※該当月の請求書データ作成前に設定してください。

税率変更開始の納品日 2019/10/01 から 消費税率 8 %を 10 %に変更する。

2019 年 10 月分の請求書の備考欄に変更前と変更後の小計を自動記載する。〈年は西暦で入力〉

☒ 上記の年月の請求書作成後に医院管理で設定している請求時消費税率を変更後の税率に変更する。  
〈上記年月に請求書を作成しなかった医院は医院管理で手動で変更してください〉

☒ 請求時消費税率を請求書に表示する。 表示例：請求書上段に 〈消費税率10%〉

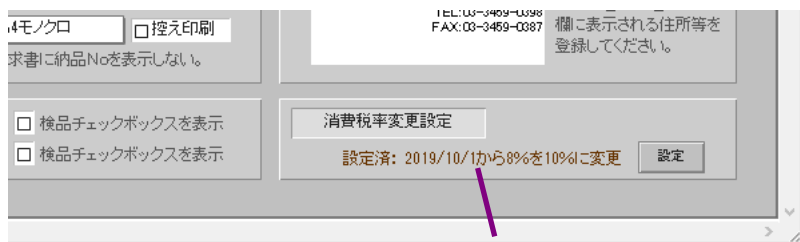
必要に応じてチェックする。

【納品時消費税率の設定】

☒ 納品書印刷時に上記の納品日から強制的に受注入力の税率を変更後の税率に変更する。  
※納品書の確認画面へ移動する際に変更後の税率に変更します。また上記納品日以降の納品書印刷時に医院管理の税率も変更後の税率へ自動変更します。

☒ 納品時消費税率を納品書と請求書に表示する。 表示例：請求書明細タイプ以外の1行表示タイプで 1,100(10)

入力内容をクリア



③設定後、戻ると設定済になります。

※税率が切り替わる前後の消費税額は、設定した日付から自動計算されて表示されますが、印刷前に請求内容や金額に問題ないかを十分ご確認の上、請求書を印刷してください。